

部会活動

第二部会(高齢者福祉部会)活動紹介

～平成20年度の活動内容について～

部会長 戸崎良和

私達部会員は36名ですが、年度初めに企画会議（企画委員会メンバー10名）を開き、部会員一致協力の下、何をなすべきか、大まかに3年間の活動基本方針（計画案）を次のとおり決めました。

【第1段階】施設等の見学・研修（内部での講習を受け現状を把握する）

【第2段階】上記の見学・研修を活かした問題点の掘り下げ

【第3段階】研修活動等の総括・行政等への提言

上記の活動計画案は部会員に諮り、全員の賛同を得ましたが、各年度の具体的活動では、次の点に重点を置くものとし、次年度への橋渡しが大事であることを共通認識しました。

① 現状を知る知識を得る。

② どのような支援活動ができるか。

③ 民生委員・児童委員としての役割を決して忘れてはならない。

なお、これら活動を進めるにあたって大切なことは、部会員相互の「意見交換・情報交換」が不可欠であると考えます。



部会風景

平成20年度の活動内容

開催年月	活動内容（講師等）
20・4	守山市における高齢者福祉施策（市高齢福祉課主幹 稲田齊氏）
5	民生・児童委員と地域包括支援センターとの連携（市地域包括支援センター参事 高橋明子氏）
7	高齢者福祉施設である社会福祉法人「友愛」を訪問研修
9	認知症への支援（市地域包括支援センター主任保健師 池田初美氏、認知症キャラバン・メイト 奥野貞夫氏）
10	滋賀県福祉用具センター（長寿社会福祉センター内）訪問
11	介護保険における認定調査員（市高齢福祉課主事 川崎章浩氏） 介護保険制度における介護支援専門員（市社会福祉協議会 介護支援専門員 今井知子氏）
12	後期高齢者医療制度（市国保年金課主幹 高橋巖擁氏）
21・1	民生・児童委員活動を通じた班別事例検討
2	民生・児童委員活動を通じた班別事例検討
3	高齢者虐待（市地域包括支援センター主任保健師 池田初美氏）

平成21年度市民児協総会を開催

5月20日（水）、守山市生涯学習・教育支援センター（エルセンター）にて、市長、市議会議長来賓の下、守山市民生委員児童委員協議会総会が開催され、前年度の事業報告、決算・監査報告および本年度の事業計画と予算について議決・承認されました。

総会終了後は、全員研修として、社団法人滋賀県看護協会在宅ケアセンター「みのり」所長の長嶋小百合氏から「訪問看護からみた在宅療養生活」というテーマでご講演いただきました。

事務局職員紹介



皆様には、日頃、お世話になっております。
平成21年4月より市民児協事務局を担当しています奥村です。
微力ではございますが、皆様とともに守山市の地域福祉推進に取り組んで参りたいと思います。
どうぞよろしくお願いします。
(守山市社会福祉協議会 奥村起世)

編集後記

世の中には我が子への愛情を失った親が沢山います。また、子ども達にも言えることです。子どもが不良になつた時、「こんな子なら産まなければ良かった。」と嘆ぐ親もいます。つまり、親子の愛といえども、状況によって移り変わっていくのが人間の性と言えるでしょう。そういつた世相だからこそ、「慈悲の心」を涵養すること、心が荒ぶ事件を無くすことに繋がっていくのではないでしょうか。

（島田記）

店頭に並んでいる花苗を見たては、一足早く季節の移り変わりを感じています。野菜作りは無理でも花ならと我流で花作りを楽しんでいますが、なかなかプロの様にはいけません。花にもそれぞれ個性があり、種まき移植、肥料、日当たり等、適期と好みを考えねばなりません。毎日、朝夕など物言わぬ花苗の顔を見ながら思案している時、ふと子育ても相通じることがある様な感覚になります。ふと子育てが、思いやりと慈しみの中でなってきたのだとうかと思ってしまいます。

（若杉記）

学区だより

勉強会で悩み解消

玉津学区

玉津学区民生委員児童委員協議会では、定期協議会とは別に民生委員・児童委員による自主勉強会を毎月開催し、委員各自の体験や福祉関係・介護保険の解釈・各種広報誌等の中で気になること等をテーマに勉強を続けております。

過日も新任研修会で教わった活動記録の記載方法でさえ、各人の思いこみや解釈の違いから記録もれや分類に違いがあることに気付いたこともあります。

特別なテーマのない時は、各委員の困っている事や体験を話し合うこともあります。異なる立場から新たな対応の仕方が見つかることや身近な仲間の体験談が疑似体験ともなり、勉強会の意義を再認識することができます。

近年、民生委員・児童委員の仕事は、乳児から独居高齢者の見守りに関するまで広範囲になり、情報の取扱いの難しさ等が重なりストレスを感じることもあります。

民児委員を取巻く活動環境はそれぞれ様々ですが、自主勉強会は民児委員一人ひとりが抱えるストレスや悩みを和らげていると感じております。



自主勉強会風景

活動日誌

守山学区

聴覚障害者との交流と親睦を目指した手話学習

守山学区民生委員児童委員協議会は、月次研修内容について各委員より意見を求めた結果、聴覚障害者施設を訪問し交流と親睦を深めるには、少しでも手話を学習しておく必要があるとの声がありました。

このため、6月度の定期会後に、ボランティアグループ「手話サークルえがお」さんから3名の講師をお招きして手話学習を行いました。全員、身振り手振りの手話表現の学習を経験しました。

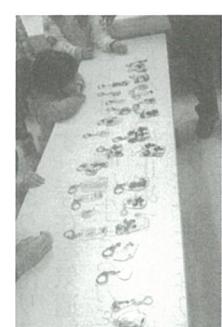
中洲学区

子どもたちに 福祉の心を！

中洲学区21活動協議会が毎年行っている“ふれあいの灯”点灯式の前日には、プレイベントとして民生委員・児童委員と福祉協力員が児童を対象に「福祉の心を育てる活動」を継続して行っています。アニメ映画の上映とプラバン作りを通して児童と



福祉の心を育てる活動風景



楽しく会話を交わし、笑顔になつて帰るその姿には福祉の心が芽生え育ってくれているようで、頼もしく見えました。